

授業科目名	如水会寄附講義「キャリアゼミ」(如水ゼミ)			
ゼミ名	銀行・証券			
講師(幹事)	幸島 祥夫(元東京三菱銀行 常務取締役 40商) 中島 敬雄(DIAMアセットマネジメント 社長 元みずほコーポレート銀行 常務 45商)	大学教員	筒井泉雄教授	
学期	通年	開講時間	水曜 4時限	
<b>【授業の目的・到達目標と方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>このゼミは、銀行・証券・その他金融機関の過去、現在そして将来展望につきそれぞれの業界の強力な個性あるリーダー達を講師として招き人生から、経営の現場の生の話を聞き、率直な質疑応答によってそれぞれの業界、仕事に対する実践的理解を深めキャリア形成に役立ててもらうことを目的とします。毎回、幹事講師が講師とゼミ生とのコーディネーターとして参加し活発な議論が行われるように誘導し、年間を通じてゼミ生のキャリア形成を支援する。</li> <li>夏および冬学期末に、ゼミを通じて理解したこと、検討したことをゼミ生にレポートにまとめ発表させます。</li> <li>銀行・証券・その他金融業界は、大きな問題を抱えており、今後ますます垣根を越えて相互に参入し競争も激化することになるので講師達にもできるだけ自らの体験に基き率直な議論を展開して頂くこととする。</li> </ul>				
<b>【授業の内容と計画】</b> 役職は平成23年3月31日現在				
月日	講師名	卒年	社名・役職	講義内容
5/11	幸島祥夫 (こうじまさちお)	S40 商	元東京三菱銀行常務取締役	ゼミの方針ガイダンス 及び 金融の基本、社会的意義について
	中島敬雄 (なかじまのりお)	S45 商	DIAMアセットマネジメント 社長 元みずほコーポレート銀行 常務	
5/18			学内での講義	
5/25	能見公一 (のうみきみかず)	東京大 S42	産業革新機構 社長 元あおぞら銀行 会長 CEO	資産運用業務の現状と展望
6/1	大澤佳雄 (おおさわよしお)	学習院大 S39	元みずほ証券 会長 元日本興業銀行 常務	銀行・証券業務の過去・現在・未来
6/8	寺澤則忠 (てらさわのりただ)	東京大 S42	元日本政策投資銀行副総裁 三菱地所藤和コミュニティ 会長	政府系金融機関の役割・展望
6/15*	行天豊雄 (ぎょうてんとよお)	東京大 S30	国際通貨研究所 理事長 元大蔵省 財務官	国際金融の過去・現在と展望
6/22	森口隆宏 (もりぐちたかひろ)	神戸大 S42	JP モルガン証券 会長 元東京三菱銀行 副頭取	投資銀行業務の展開
6/29	松井道夫 (まついみちお)	S51 経	松井証券 社長	新しい証券業務の展開
7/6	鏡味徳房 (かみみのりふさ)	東京大 S40	東日本銀行 頭取 元日本輸出入銀行常務理事	地域銀行業務の現状と展望
7/13*	田中達郎 (たなかたつお)	慶応大 S	三菱東京UFJ銀行 副頭取	アジア金融・資本市場の現状と展望
7/20	幸島祥夫	S40 商	元東京三菱銀行常務取締役	夏学期まとめ、学生発表

	中島敬雄	S45 商	DIAMアセットマネジメント 社長 元みずほコーポレート銀行 常務	
10/5	中島敬雄	S45 商	DIAMアセットマネジメント 社長 元みずほコーポレート銀行 常務	金融業務の課題と展望
	(幸島祥夫)	S40 商	元東京三菱銀行常務取締役	
10/12	車田直昭 (くるまだなおあき)	東京大 S58	ドットコムディティ 社長 元通産省	コマーシャルマーケット業務の現状と展望
10/19	恵谷英雄 (えたにひでお)	S53 経	みずほ証券 常勤監査役 元日本銀行 情報サービス局長	日本銀行の役割と展望
10/26*	稲野和利 (いなのかずとし)	東京大 S51	野村アセットマネジメント 会長 元野村ホールディングス 副社長	証券会社の現状と展望
11/2	蓑田秀策 (みのだしゅうさく)	S49 経	KKRジャパン 社長 元みずほコーポレート銀行 常務	M&Aの現状と展望
11/30	小宮一慶 (こみやかずよし)	京都大 S56	小宮コンサルティング 代表	企業金融と家計部門
12/14	幸島祥夫	S40 商	元東京三菱銀行常務取締役	冬学期まとめ、学生発表
	中島敬雄	S45 商	DIAMアセットマネジメント 社長 元みずほコーポレート銀行 常務	

#### 【テキスト・参考文献】

テキスト、参考書は予め定めない。適宜参考文献の推薦を行う。

#### 【受講生に対するメッセージ、希望】

- ・ 世界の経済・金融は引き続き未曾有の混迷状況にあるが、「経済の血液」としての金融の役割の重要性はむしろ増しているのでゼミ生には大いにチャレンジする意義を見出してもらいたい。
- ・ 金融技術、金融理論は重要であるが、金融で最も重要な「信用」の確立についてぶれない姿勢を身につけることを学んでもらいたい。
- ・ 現在考えられる最強の講師陣を揃えたので、銀行、証券、その他金融の真髄を学んで貰いたい。
- ・ 毎回予め質問、疑問を準備し活発に議論に参加し、講義ごとに理解した内容のレポートを次回のゼミの時に提出してもらおう。(A4版2枚以内)
- ・ 毎回講師には現場での体験、志を必ず話してもらいますのでゼミ生のキャリア選択に役立ててもらいたい。
- ・ 年間4~5回のゼミは講師の都心のオフィスに出向いて行うが、その場合は移動時間を考慮して原則16:00~17:30をゼミの時間とする。(国立以外でのゼミは予定日に\*印を付してある。)
- ・ ゼミの評価は出席が最も重要ですが、ゼミでの活動、期末のレポート発表を総合的に評価して合否を決定する。
- ・ 7月20日に夏学期最後のゼミを行い、ゼミ生に発表してもらおう。同様に12月14日に冬学期最後のゼミを行い学生にまとめの発表をしてもらい、通年のレポートをまとめる。